

文部科学省から、オミクロン株に係る最新の知見等を踏まえ、臨時休業等に関するガイドライン運用に当たっての留意事項が示されたので、当該留意事項に沿った対応を進める。

ポイント

◎学級閉鎖の期間の目安

「5～7日程度」→「5日程度」

◎学校で感染者が発生した場合、全体像の把握等のために臨時休業を行った後、保健所業務のひっ迫により積極的疫学調査の実施が遅延したり、十分に行えなくなった場合の学校の再開の目安

「（記載がなかった）」→「学校医等と相談し、臨時休業を開始してから5日後程度」

学校における新型コロナウイルス感染拡大防止の取組

オミクロン株の影響により学校における児童生徒、教職員の感染者が急増しているため、衛生管理マニュアルに基づき、令和4年2月7日（月）から、各教科や部活動において、感染症対策を講じてもなお感染リスクが高い活動を、行わないこととする。

感染リスクが高い活動の例（衛生管理マニュアル50ページ）

- ・ 児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等
- ・ 近距離で一斉に大きな声で話す活動
- ・ 児童生徒同士が近距離で活動する実験や観察
- ・ 室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏
- ・ 児童生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動、調理実習
- ・ 児童生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動